

2022年3月31日

各 位

会 社 名 S A N E I 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 岡 利 明
(コード番号：6230 東証市場第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 コーポレート本部長 早 川 徹
TEL. 06-6972-5955

上場調達資金用途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、2020年11月19日付「有価証券届出書」、2020年12月9日付及び2020年12月17日付「有価証券届出書の訂正届出書」における2020年12月25日の新規上場にて調達した資金の用途を一部変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当初計画では、当社の主力工場である岐阜工場における生産設備の増強として、加飾鍍金設備の導入、水栓本体生産設備の導入、既設の鍍金設備の更新を行う予定としておりました。

しかしながら、当社を取り巻く社会環境・経営環境は目まぐるしく変わっており、時代の流れに沿った「モノづくり」のあり方を再構築すべく、岐阜工場の生産エリアを包括的に見直すことといたしました。

将来的な国内市場・海外市場における更なる水栓金具（高付加価値水栓）の需要拡大にあわせ、高付加価値製品の安定的な供給体制を確立することを目的として、新たに用途金額及び支出予定時期を計画しておりますので、お知らせいたします。

新たな計画では、「高効率化・省力化・環境対策」をコンセプトとし、岐阜工場全体の生産エリアを拡張、随所に自動化生産設備を導入し、工程間の連動化、生産ラインの増設、を行うことで生産能力をさらに一段高めていくことにいたしました。また、太陽光発電等を利用したインフラ設備導入などにより、CO2排出量を削減することで、カーボンニュートラル達成をめざし、「地球や環境に優しいモノづくり」実現に向け、事業活動を推進してまいります。

この計画は、工場を稼働させながら今後の生産に支障をきたすことなく行う予定であり、第一次計画、第二次計画と分けて実施いたします。第一次計画は、10億円を予定しており、上場時の調達資金を充当し、不足分は自己資金及び銀行借入金にて対応いたします。第二次計画につきましては、詳細が決まり次第、速やかにお知らせします。

2. 変更の内容

資金使途の変更の内容は次のとおりです。

(変更前)

具体的な使途	金額 (千円)	支出予定時期
岐阜工場における加飾鍍金設備	80,000	2022年3月期
〃 水栓本体生産設備	200,000	2022年3月期
〃 鍍金設備更新	369,015	2023年3月期
上記合計	649,015	

(変更後)

具体的な使途	金額 (千円)	支出予定時期
(第一次計画) 岐阜工場における鋳造工程、加工工程、研磨工程 のレイアウトの見直しに伴う増改築工事	100,000	2023年3月期
〃	900,000	2024年3月期
上記合計	1,000,000	

※) 資金計画につきましては、上場時の調達資金を充当し、不足分は、自己資金及び銀行借入金を予定しております。

3. 岐阜工場への設備投資等の時期

工場を稼働させながら今後の生産に支障をきたすことなく行う予定であり、第一次計画を2022年9月より工事の着工を行い、2024年2月まで実施いたします。第二次計画につきましては、詳細が決まり次第、速やかにお知らせします。

4. 今後の見通し

岐阜工場設備投資完了後（第一次計画及び第二次計画完了後）の事業年度において、減価償却費の増加が想定されますが、製品供給量が増え、収益が伸長することにより吸収可能な水準と見込んでおります。

なお、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせします。

以上